

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2025年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科	国際教養学科		
科目名称	キャリア・デザイン						授業形態	演習	
科目コード	531623	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験担当教員	○	Active・L	○
担当教員名	柚木崎 千春							ICT活用	
授業概要	キャリアとは、それをデザインするとはどういうことなのか、すぐに理解することは簡単ではないと考えます。しかし、近く職業世界への扉が開かれるこのときに、「こんなことが出来たら、こんな暮らしをしながら人生をおくることが出来たらいいな」と、誰しも漠然と思うことはあるでしょう。その思いを考えに深化させ、自らの進路や将来計画を勘案します。社会の中で自分の役割を果たしながら、自分の能力を最大限に発揮し「自分らしい生き方」を実現するためには、何をすべきか明確にすることが必要と考えます。そのキャリア形成のプロセスを学習します。自己分析や各種の職業人・社会人にインタビューをするなど他者との意見交換の機会を多く採り入れた演習授業であり、学期末には、学修したことをレポートにまとめ提出を課します。企業において秘書職の実務経験を有する教員が本授業を担当します。								
関連する科目	キャリア入門、キャリア開発実習、キャリアビジネス論								
授業の方法と進め方	本授業は、主に講義形式で実施するが、一部の回では受講者をグループ分けし、グループディスカッションや課題発表も実施する。 これにより、受講生が主体的に学べるようにする。 各回の授業ごとに、講義の目的・目標の把握を示してから授業を進める。								
第1回	オリエンテーション（授業の進め方、評価方法、課題・レポートについて） 事前・事後学修：※1.その他（授業時間外の学習）参照 授業No.2～15迄同様								
第2回	キャリアデザインの考え方とキャリアデザインの必要性 テーマ：「現在の自分から、本当の自分の芽を見つける」 事前・事後学習：※2.課題に対しレポート提出（次回授業迄に提出）授業No.2～14迄以下同様								
第3回	自己分析Ⅰ：「過去・現在の掘り起し」過去の体験を振り返り現在の自分を知る ・「今を生きる」とはを考えてみる ・キャリア・デザインの必要性について								
第4回	自己分析Ⅱ：交流分析（エゴグラム）で自分を客観的に知る 「過去と他人は変えられない・・・」について								
第5回	自己分析Ⅲ：自分の「価値観」について ・ワークバリューについて（大切にしたい会社選びの基準）考えてみよう								
第6回	就職活動とは何か：自己分析と企業が求める人材とのマッチング ・ワークバリューについて（自分の背中を押してくれる価値観）考えてみよう								
第7回	社会人基礎力Ⅰ：企業が新入社員に求めている社会人基礎力とは何か ・必要な就業力と自分の就業力の現状と課題について								
第8回	社会人基礎力Ⅱ：自分の強みを知る 「進むべき方向性を見つける」について								
第9回	働くことについて：働くとは、仕事とは ・「計画された偶発性理論」について ・あらためて、自分にとって働く意味、仕事の捉え方について								
第10回	自己の目標とキャリアデザインとの関係 ・私のキャリアデザイン：振り返り・自己分析そしてこれから ・何度でもリプランニングは可能								
第11回	ゲストスピーカー講話:キャリアデザインと仕事について ・メディア関連のビジネスワーカーに聞く・訊く								
第12回	グループディスカッション：新聞記事から社会問題を考える ・個人の興味や関心について ・物事の捉え方と解釈について								
第13回	キャリアデザインとケーススタディ：職業人へのインタビュー調査 ・様々な価値観に遭遇する								
第14回	目標と行動計画：夏休みのキャリアプラン作成 ・これまでの学習を基に将来（就職活動）に繋がる計画を立ててみる								

第15回	まとめ：グループ発表 事前・事後学修：成果レポートを指定日迄に提出
授業の達成目標	① 社会変化などにより「キャリア・デザイン」が重要になっていることを理解する。 ② 自己理解を深め、自分の生き方を考えられる。 ③ 自ら考え、行動し、働くことの心構えを確立する。 ④ 授業終了時には、学修成果として自己理解と自己評価ができる。 【学士力＝知識・理解＋汎用的技能＋態度・志向性】
学修成果との関連	1.自ら考える能力を有する。／3.現代社会に関する基本的知識を有する。
授業時間外学習【予習】	【予習】 毎回の授業で予告されるテーマや課題について、新聞等で関連する情報を収集すること。授業で学習したことを復習し応用・考察することが次回授業の準備に繋がるので、授業ごとにレポートの提出を課す。課題にかかる時間を確保すること。 レポート作成にかかる時間は個人差があると考えられるため（2時間程度を想定）、特に第13回の授業内容はボリュームがあるので、課題提出期限の厳守と受講生の能動的取り組みに期待する。
授業時間外学【復習】	【復習】 授業で学習したことを復習し応用・考察することが次回授業の準備に繋がるので、授業ごとにレポートの提出を課す。課題にかかる時間を確保して欲しい。レポート作成にかかる時間は個人差があると考えられるため（2時間程度を想定）、特に第13回の授業内容はボリュームがあるので、課題提出期限の厳守と受講生の能動的取り組みに期待する。
課題に対するフィードバック	提出されたレポートから受講生の考えを知り、全体で情報を共有する。 毎回のレポートを基に学生自らが「到達目標達成度評価表」を作成することにより、学修成果と将来に向けての課題が明確になる。
評価方法・基準	課題提出（30点） 授業への取り組み（15点） プレゼンテーション（15点） ※学期末学修成果レポート（40点） 一般財団法人全国大学実務教育協会の到達目標達成度評価表（ループリック）の提出
テキスト	テキストは特に指定せず、必要に応じてプリントを配付する。
参考書	『実践キャリア考』編修：一般社団法人 全国大学実務教育協会他 授業中に適宜紹介する。
備考	・2年次後期開講予定の「キャリアビジネス論」の履修を希望する学生は、本授業単位を修得していることが望ましい。詳細は初回授業時に説明する。 ・外部講師の都合により授業計画の順番を変更する可能性がある。